

主な受賞者の紹介

1 創意工夫ある教育活動により、顕著な成果をあげた者

○知立市立猿渡小学校 教諭 岸 太平 (名簿番号 33) 【若手教職員等奨励賞】

温厚な人柄で児童や保護者に広く親しまれ、同僚とも協和的に職務に専念している。また謙虚に努力するので誰からも信頼が厚く、学年主任並びに校内研究副主任として活躍しつつ、自らの授業力を向上させてきた。

特に、2016年度は前任校において社会科の授業実践に、2017・2018年度は知立市教育委員会の研究委嘱を受けた現任校において、研究副主任として国語科の授業実践に取り組み、「自らの思いや考えを大切に作る」授業づくりに励み、児童の表現力育成に努めた。そして、その成果をまとめ、知立市教育論文審査に応募し、3年連続で入選を果たすとともに、市内研究発表会分科会の場においてその成果を発表し、市内の教員の資質向上に貢献した。

また、2019年度からは、知立市不登校・いじめ未然防止対策協議会の授業力向上研究推進委員会で委員長を務め、ミドルリーダーとして活躍しながら、不登校やいじめを未然に防ぐための、児童の「自己肯定感を高める」授業づくりに励んでいる。



「児童の声に耳を傾ける岸教諭」

○瀬戸市立にじの丘中学校 主幹教諭 山中 晶貴 (名簿番号 46) 【教職員表彰】



「児童生徒とともに清掃活動を行う山中主幹教諭」

2016年度から瀬戸市小中一貫教育カリキュラム編成委員を務めるとともに、小中一貫校設立に向けた、各教科、総合的な学習の時間や行事の計画立案に中心的な立場として関わり、大きく貢献した。また、校舎の設計にも教員の立場で携わった。

現在は新設の小中一貫校「にじの丘学園」において、中学校の教員が小学校で授業を行う乗り入れ授業や異学年交流等をより効果的に実践するための研究を行っている。また、学校運営協議会「地域連携担当教職員」として、地域コーディネーターと連携のもと、「地域と共にある学校」の

より良い実現に向け日々邁進している。

教育に対する高い見識と確固とした理念をもつとともに、職員の意見を受け入れる柔軟性を併せもっているため教職員からの信頼も厚い。

○愛知県立旭陵高等学校 教諭 ^{かとう}加藤 ^{けいた}圭太 (名簿番号 74)
【若手教職員等奨励賞】

数学科教諭として、生徒が通信制高校における学習の基本である自学自習に意欲を持って取り組めるよう164ページに渡る通信教育用学習図書(学習書)を自作するとともに、200本以上の解説動画を配信している。さらに、限られた回数の面接指導では、個別指導を重視して丁寧な対話を重ねながら、基礎的内容に加え生徒が自発的に学ぶ方法について具体的に指導している。こうした取組により担当科目の単位修得率を大幅に向上させた。また、生徒が学習上の疑問や学習方法の悩みを気軽に相談できる体制を構築するなど、教科を超えて多くの生徒の学習を支援している。学習活動へのICT活用にも積極的で、他の教員と協働しながら新たな取組に挑戦している。校外においても全国高等学校通信制教育研究会の学習書改定委員としてメンバーの中心的役割を担っている。



「対話を重視した指導をする加藤教諭」

2 使命感を持って教育活動の改善に取り組み、信頼が厚い者

○稲沢市立大里西小学校 教諭 ^{ばば}馬場 ^{ひとみ}日登美 (名簿番号 10)
【教職員表彰】



「道徳の授業で話し合いを進める馬場教諭」

何事にも熱意をもって取り組み、積極的に研修に励み、自らの指導力向上に努めている。稲沢市の生活科教育研究会では中心になって研究を進め、「愛知県生活科教育研究大会」「全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会」にて、「子どもがつぶやきに耳を傾け、対話を大切にして思考を深める授業」をテーマに成果を発表した。

また、道徳教育推進事業の研究主任や現職教育長を務め、道徳をはじめとした授業改革に取り組み、児童が主体的に探究する授業を目指し、

成果を上げている。さらに、児童に寄り添い一人一人を大切にしたい指導を行い、活気ある学級をつくり上げている。他の教員に、授業や学級経営について手本を見せたり、相談にのってアドバイスをしたりし、厚い信頼を得ている。

○川谷市立川谷特別支援学校 養護教諭
【教職員表彰】

もとうす みき
本白 美紀 (名簿番号 101)

2018年度の開校とともに現任校へ異動し、児童生徒・保護者・教職員など、誰からも信頼される「明るくやさしい養護教諭」である。これまで、特別支援学校における保健教育に携わり、豊かな経験で培ってきた専門的な知識を活かした保健室運営を進めている。



「看護師と業務確認をする本白養護教諭」

現任校においては、肢体不自由のある児童生徒の健康教育を推進するため、学校医、学校薬剤師、保護者等が参加する「学校保健委員会」を立ち上げた。また、医療的ケア実施体制の構築においては、全国初の出向看護師システムの構築に尽力し、2019年度、文部科学省主催「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議」に取り上げられるとともに、文部科学省担当官の視察を始め、他府県教育委員会の視察を受けるなど全国が注目するシステムを作り、医療的ケアの必要な児童生徒が安全・安心して通える教育環境整備に尽力している。

○春日井市立柏原小学校 主任 安田 浩貴 (名簿番号 102)
【教職員表彰】

やすだ ひろたか
安田 浩貴



「運営委員会で提案をする安田主任」

教員が授業に専念することができる体制を実現するために、学校全体を見渡せる俯瞰的な視野と高度な専門性を生かして、従来教員が担ってきた業務を積極的に引き受けている。労をいとわず真摯に取り組む姿勢により誰からも信頼されている。

校務支援システムの活用、新学習指導要領の趣旨を理解した上での予算執行など、学校経営者の一員としてチーム学校の実現に尽力している。また、職員室に来室する児童や保護者、地域

からの電話に対しては、いつも時間を惜しまず丁寧に対応している。

2013・2014年度愛日公立小中学校事務職員研究会特別委員、2016～2018年度全国公立小中学校事務職員研究会研究開発部理事を務め、第49～51回全国公立小中学校事務職員研究大会で地域協働と事務職員についての研究成果を発表した。そこでの学びを市内でも発信し、還元している。

3 地道な教育活動を継続して行い、他の模範となる者

○知多市立八幡中学校 教諭 石橋 雅代 (名簿番号 59) 【教職員表彰】



「ことわざの説明をする石橋教諭」

誠実で温かみのある人柄は、広く教職員に受け入れられ信頼を得ている。教育に対する情熱に満ちあふれ、優しさと芯のある指導をする姿は、他の教職員の模範である。

特に国語科教育については、知多地方教育研究会国語研究部推進委員として、「確かなことばの力を育てる」をテーマとして、互いの立場や考えを尊重しながら言葉で「伝え合う力」を意識した実践を行ってきた。常に研鑽を積んでおり、知多地方の教育計画案作成委員会の編集委員や代表として、その高い見識を国

語科のカリキュラム編成に反映させている。

また、知多市教科等指導員として、市内の国語科研究や国語科教育における指導的立場を担うだけでなく、県小中学校社会体験型研修に参加するなど、知多地方や県全体の教育にも大きく貢献している。

○愛知県立内海高等学校 教諭 稲葉 さおり (名簿番号 86) 【教職員表彰】

明朗闊達で誠実な人柄は、職場全体に明るい雰囲気と活気を与えている。長きにわたり学校教育相談の主担当として、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと密に連携しながら組織的に、生徒・保護者へ丁寧な相談活動を行っている。相談件数が増加傾向にある中でも、常に親身になって対応をするため、生徒・保護者からの信頼が厚い。校内では現職研修を積極的に企画し、問題を抱える生徒の早期発見、教職員のカウンセリングマインドの育成に努め、校外でも学校教育相談活動の在り方について広く発信している。



「教員研修でアドバイスをする稲葉教諭」

また、家庭科における教育研究においても大変熱心に活動し、地区のまとめ役を務めるなど研究成果を県下へ広め家庭科教員の資質向上に貢献している。

責任感のある言動や実行力のある姿から、同僚から絶大な信頼を得ており、他の教職員の模範である。

○愛知県立衣台高等学校 教諭 ^{やまさき}山崎 ^{こうじ}浩司 (名簿番号 87)
【教職員表彰】

現任校において、生徒会主任、学年主任、総務主任を歴任し、明朗快活な人柄で、何事にも率先して取り組む姿は、学校全体に良い影響を与えている。生徒会主任として、学校行事や生徒会活動の活性化に力を発揮し、学年主任としては、学年の先生方の適性を把握し、チームとして学年運営を実践してきた。生徒指導力はもちろんのこと、厳しさと優しさを兼ね備えており、生徒、職員、保護者からの信頼が厚い。部活動では、サッカー部を熱心に指導し、県大会出場を果たしている。各種研究会や研修会に参加しており、数学の教科指導力も高く、わかりやすい授業と、生徒や、教員からの評価も高い。職員室では、ムードメーカーとして、明るい職場環境を作るなど、本校において模範的な教員であるとともに、リーダーとして学校を支える中心的な人物である。



「わかりやすい数学の授業を実践する山崎教諭」